

令和6年度 第1回 学校評価アンケートに関する考察

保護者アンケート(1~22)の中で、肯定的な回答が8割を下回った項目は7項目ありました。

()の数値は令和5年度第2回アンケートの結果です。

「学校は、家庭と連絡をきめ細かく行っている。(電話、連絡帳、たより)」 75. 3%(89. 9%)

連絡帳やさくら連絡網で、できる限りもれ落ちがないように連絡を行っていますが、御質問やお子様の気になる点、緊急の連絡に関しましては、電話で受け付けております。(電話 0479-86-3110)お気軽に御相談ください。

「学校は、いじめの予防や早期発見、適切な対応に努めている。」 58. 4%(66. 2%)

本校では、毎月、児童に「大平っ子アンケート」を実施しています。このアンケートで気になる回答をした児童はただちにチェックして面談を行っています。また学期に一度すべての児童と教育相談を行い、いじめの早期発見に努めています。

さらに月に1回、生徒指導委員会を設け、気になる様子の児童について職員で共通理解を図り、対応を検討しています。いじめを認知した場合は大平小の「いじめ防止基本方針」に則り、いじめ防止対策委員会を立ち上げ対策を講じています。

今年度も、心の教室相談員が週に3回、スクールカウンセラーが月に1回来校しています。その際に児童が相談できる機会があります。1階学習センター3組の前に相談箱を設置し、児童はいつでも相談事を投函できるようにしています。投函箱は毎日チェックしています。また、2学期には全校面談の実施を予定しています。

本校では、これまでいじめの重大事案はありませんが、児童同士のトラブルは報告されています。いじめの未然防止にも十分に努め、いじめ等の事案が起こった場合は引き続き、適切な対応を行っていきます。

「学校は、特別な支援が必要な児童への配慮がなされている。」 74. 2%(79. 9%)

本校は112名と決して大規模な学校ではありませんが、特別支援学級を3学級開設しています。また、児童への細かい対応のため、市から配属されている支援員3名を配置しています。学期ごとに特別支援教育アドバイザーを要請し、指導方法の工夫等について職員が指導・助言を受けているところです。困り感を抱えている様子の児童には適宜、専門家を招き、発達検査等も実施しています。

「学校は、個に応じたきめ細やかな指導を行っている。」 68. 6%(82. 4%)

市の少人数指導担当が算数等の指導をチームティーチングで行っています。学級を二つに分けた少人数指導も実施している学年もあります。さらに、ICT機器の活用などを推進し、一人一人を大切にした教育を進めてまいります。

「学校は、良いことをしたときは認め、悪いことをした時はきちんと指導している。」 76. 4%(82. 5%)

児童は、どの学年もとても落ち着いた態度で学習や運動に取り組んでいます。誤った行動に対しては、教職員共通理解をはかって一貫した指導に努めています。

「児童は、家庭学習をしっかりと行っている。」 74. 1%(69. 9%)

家庭学習については、家庭学習の進め方を担任が指導したり、家庭学習推進週間等を設け、家庭学習に取り組む姿勢の強化を図ったりしています。子どもたちの学力向上には学校での学習のみならず、家庭での学習が必要不可欠です。一人一台端末(タブレットパソコン)を使った学習なども推進しています。家庭学習については家庭と学校で協力して進め、児童の学力向上を図っていきます。

「児童は、望ましい食生活が身についている。」 77. 5%(83. 0%)

給食の残菜を記録し、フードロスが減らす取り組みを行っている学級もあります。給食などで苦手な食べ物も一口でも食べてみる支援や家庭科での授業をとおして食育を推進していきます。